2019/3/1　発行

島根糖尿病療養支援機構 機関紙　Vol.5

- 巻頭言
- 年間行事予定
- 平成30年度総会報告
- 平成29年度事業報告
- 島根糖尿病研修会2018報告
- 島根糖尿病研修会2019のお知らせ
- ﾌﾞﾙｰﾗｲﾄ･ｵｰｹｽﾄﾗを主催して
- 島根県糖尿病腎症重症化予防実践者育成講座の開催
- 食事指導用媒体紹介
- 事務局からのお知らせ
- 編集後記

NPO法人　島根糖尿病療養支援機構
Non-Profit Organization Shimane diabetes care support organization(SDCO)
〒690－0883 島根県松江市北田町2－3
TEL：0852-20-0700　/　FAX：0852-20-0880
http://www.sdmrso.jp /E-mail：info@sdmrso.jp

巻頭言

NPO法人　島根糖尿病療養支援機構
理事長　並河　整

わが国が世界的な長寿国となり高齢者人口が増加の一途をたどる中、健康寿命をいかに延ばすかが喫緊の問題です。加齢に伴い、医療・介護が必要な種々の症状が現われる状態は老年症候群と呼ばれ、認知症、ADLの低下、サルコペニア、転倒や骨折、うつ症状、低栄養、尿失禁など、いずれもQOL低下の大きな原因となっています。糖尿病の合併症として、糖尿病に特有な3大合併症－網膜症・腎症・神経障害－が重要であることは現在も変わりませんが、更に糖尿病は認知症・骨粗鬆症・一部の癌などとも関連が強いことが明らかになり老年症候群の大きな原因となっています。ひとたび老年症候群が現れると食事、運動、薬物療法の継続が困難となり、糖尿病状態が悪化するという悪循環が起こることもしばしばです。したがって糖尿病治療の目標は今日、3大合併症の予防にとどまらず、総合的に健康を維持し、老年症候群を予防するということであると言えると思います。

島根県では糖尿病専門医が少数である中、種々の医療職種が職場や地域で活躍して来た歴史があり、老年症候群予防のための栄養、運動、服薬、受診継続などの指導は糖尿病療養指導そのものですので大きな力になると思われます。高齢者の特性を十分理解して今後も指導の質の維持・向上、医療者間の連携を今後も図っていけば、高齢社会の中で大きな役割を果たせるのではないでしょうか。種々の研修を繰り返し行い、島根県糖尿病療養指導士制度を維持・発展させ、糖尿病を考える会やCDEの会などの会員の交流と相互学習を継続していくためにも私たち法人の責務は大きいと思います。

活動を今後も積極的に展開していくために、法人運営の効率化を推進し運営が盤石なものとなる様、努力して参ります。皆さまのご協力、ご支援の程、引き続きよろしくお願い申し上げます。

◇年間行事予定◇

3月1日(金)～2日(土)	糖尿病学の進歩	青森:リンクステーションホール
3月9日(土)～10日(日)	島根県糖尿病療養指導士第11期第2回認定研修会	益田赤十字病院
3月17日(日)	島根県糖尿病協会糖尿病療養指導研修会	島根大学医学部
4月14日(日)	糖尿病を考える会総会・研修会	島根大学医学部
5月19日(日)	島根県糖尿病療養指導士の会総会・研修会	松江赤十字病院
5月23日(木)～25日(土)	日本糖尿病学会年次学術集会	仙台市
6月2日(日)	島根県糖尿病協会総会	松江赤十字病院
6月22日(土)～23日(日)	島根県糖尿病療養指導士第11期第3回認定研修会	サン・レイク
7月20日(土)～21日(日)	日本糖尿病療養指導学術集会	福岡国際会議場
8月18日(日)～25日(日)(予定)	大山サマーキャンプ	大山近郊
9月1日(日)	島根糖尿病合同研修会2019	くにびきメッセ国際会議場
9月7日(土)～8日(日)	日本くすりと糖尿病学会	札幌コンベンションセンター
9月21日(土)～22日(日)	日本糖尿病教育・看護学会学術集会	幕張メッセ国際会議場
9月27日(金)～28日(土)	日本糖尿病合併症学会年次学術集会	大阪国際会議場
9月29日(日)	島根県糖尿病協会糖尿病療養指導研修会	浜田医療センター
10月5日(土)～6日(日)	島根県糖尿病療養指導士第11期第4回認定研修会	松江市
10月12日(土)～13日(日)	日本糖尿病医療学学会	京都大学百周年時計台記念館
11月22日(金)～23日(土)	日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会	浅草ビューホテル
12月6日(金)～7日(土)	日本糖尿病学会中国四国地方会	徳島市あわぎんホール

◇平成30年度 総会報告◇

日　　時　　平成30年12月2日（日）　　8:00～8:30
場　　所　　松江赤十字病院
出席人数　　127名（内表決委任者107名）／正会員数152名
内　　容　　・総会　平成29年度（H29.10.1～H30.9.30）事業報告
平成29年度（H29.10.1～H30.9.30）活動計算書決算報告
平成30年度（H30.10.1～2019.9.30）事業計画
平成30年度（H30.10.1～2019.9.30）会計活動予算

◇平成29年度事業報告(29.10.1～30.9.30)◇

糖尿病関係行事に出向き、島根糖尿病療養支援機構の活動について周知、また会員の勧誘も行なった。ホームページを活用して糖尿病関係の団体機関からの要望を受け、島根県内の糖尿関係行事・研修会等の日程表、お知らせ等をホームページに貼り付け、できるだけ多くの人に周知できるよう努め、関係者から喜ばれている。今年度ホームページをリニューアルし、島根県の糖尿病療養指導士認定研修要項・研修会カリキュラム等も掲載し、島根県糖尿病療養指導士制度に対するPR活動にも繋げた。

本支援機構が音頭を取って、糖尿病関連機関等の連携を密にできるようにと意見交換の場を設け、今後は継続的に会を開催することにより一層地域の糖尿病の予防や療養について正しい知識の普及啓発と県民の健康増進に寄与するための講演会等協力体制の強化に努め、今年度は、糖尿病を考える会・島根県糖尿病療養指導士の会・NPO法人島根糖尿病療養支援機構の3会合同研修会「島根糖尿病合同研修会2018」を開催し、265名の関係スタッフが一堂に集まった。

また、平成23年度から実施している松江市国民健康保健指導業務委託である特定保健指導業務も、本事業に登録している管理栄養士（糖尿病療養指導士）が、研修会に出席して質を高めながら件数を増やしてきた。また、28年度からは松江市糖尿病腎症保健指導も始まり、研修を受けた会員が指導に当たりますます活躍の場が広がった。

近年、臨床現場から糖尿病の専門知識を持つ管理栄養士による指導の要望が強くなってきたため、NPO法人島根糖尿病療養支援機構に管理栄養士紹介委員会を平成22年7月設置し、糖尿病療養指導士の資格を有する管理栄養士の登録、指導するための栄養士研修の実施、診療所への管理栄養士の紹介等を行っている。今年度は、申し込み医療機関も増え、指導件数も増加してきている。地域のイベント事業に出向き管理栄養士紹介事業について説明することにより、関心が多くなり、県内・外の医師会関係・町村関係から栄養指導の講演依頼があるようになってきた。また、事業所における健康教育への依頼も増加してきている。今年度は糖尿病療養指導士による（食）を中心とした栄養改善プログラムを構築し、地域、事業所で実施した。この事は療養指導士が一次予防にも積極的に取り組む場ができてきた。自分の食事摂取量が簡単に把握できるようにと、1日とりたい食品についての資料を作成しているが、教材として効果的と好評を得ている。

平成29年11月18日『世界糖尿病デー』行事として、松江城のブルーライトアップで市民に糖尿病についての理解を訴えた。日糖協島根県支部を中心に、松江市、松江保健所、島根県医師会、松江市医師会、歯科医師会、糖尿病療養指導士、糖尿病にかかわる医療者が集いこのイベントを盛り上げるために協力して動いたことが、大勢スタッフの参加をよび、一般市民も合わせ300人の参加の下で一体となってライトアップイベントを盛り上げ、大盛会に終わることができた。このイベントを通して地域の糖尿病関係者との連携が密になり、それぞれの地域における糖尿病予防活動の取組みに対し一層協力の輪が広がり、これを機会に今後も継続的にそれぞれの地域で糖尿病活動が一体となって進展していく活動に、糖尿病療養指導士が中心となってできるよう支援し働きかけていきたい。

第6回日本糖尿病協会療養指導学術集会に島根県糖尿病療養指導士が多数参加し自分たちの活動から得た演題発表を多数行った事は、島根県糖尿病療養指導士の質の高まりと活動の広まりによるものであり、さらなる発展に繋がる重要なものとなった。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
糖尿病に関する教育・広報事業	ホームページを使って、島根県内の糖尿病研修会の日程等を掲載、会員からの問い合わせ、質問等にも対応をしている	29.10～30.9	事務局	4人	会員、島根県糖尿病療養指導士，その他一般（対象400）
	糖尿病食事療法指導用教材作成	29.10～30.9	事務局	4人	NPO法人正会員、島根県糖尿病療養指導士、糖尿病友の会、地域一般（対象1000名）
	松江市健康福祉フェスティバル	30.6.10	松江市保健福祉総合センター	4人	松江市民、島根県糖尿病療養指導士、医療機関関係者（出席者100名）
	島根糖尿病合同研修会2018	30.8.26	くにびきメッセ国際会議場	28名	3会会員188名 非会員12名 薬剤師会60名 歯科医師会5名 合計265名
	日本糖尿病協会島根県支部との共催平成29年度『世界糖尿病デー』松江城ブルーライトアップイベント・講演会	29.11.18	松江市 松江城 松江赤十字病院	5人	出雲地区会員、島根県糖尿病療養指導士、医療機関関係者、一般（出席者300名）

島根県糖尿病療養指導士認定事業	島根県糖尿病療養指導士認定機構第4回第10期生研修会	29.10.21	松江赤十字病院	6人	島根県糖尿病療養士認定機構第10期生、島根糖尿病療養指導士（出席者100名）
		29.10.22		6人	
	島根県糖尿病療養指導士認定機構第5回第10期生研修会	30.3.10	益田赤十字病院	5人	島根県糖尿病療養士認定機構第10期生、島根糖尿病療養指導士（出席者100名）
		30.3.11		5人	
	島根県糖尿病療養指導士の会研修会	30.5.20	松江赤十字病院	6人	島根県糖尿病療養指導士（出席者64名）
	島根県糖尿病療養指導士認定機構第6回第10期生研修会	30.5.12	松江赤十字病院	5人	島根県糖尿病療養士認定機構第10期生、島根糖尿病療養指導士（出席者100名）
		30.5.13		5人	
指導者紹介事業	（株）ヘルスプロジェクト社員 食生活指導	29.10～30.9	テクノプロジェクト	4人	（株）テクノプロジェクト社員（38名）
	山陰合同銀行健康教室	29.11.12	山陰合同銀行本店	1人	50歳代対象者（家族も含む）
	寺町健康教室	29.11.18	ポートピア	1人	地域住民　20名
	（株）テクノプロジェクト 新入社員食生活講座	30.4.2	テクノプロジェクト	1人	（株）テクノプロジェクト 新入社員（8名）
	海士町糖尿病検診	30.6.16～6.17	海士町保健福祉センターひまわり	1人	海士町糖尿病患者　200名
	松江市 国保特定保健指導事業	29.10～30.9	訪問指導（松江市在住）	2人	動機づけ支援6件 積極的支援4件
	松江市 糖尿病腎症保健指導事業	29.10～30.9	保健センター他	5人	10件
	島根県 糖尿病腎症重症化予防 実践者育成講座	30.6.27	出雲市 ビッグハート	2人	市町村国保及び保健部局担当者、関係機関職員（34名）
	指導申込のあった医療機関に出向いて個別に栄養指導	29.10～30.9	松江市・出雲市 鹿足郡の医療機関	6人	申込医療機関（6施設367件）

◇島根糖尿病合同研修会2018◇

NPO法人 島根糖尿病療養支援機構
副理事長　田中美紗子

島根県の糖尿病療養支援にかかわる、「NPO法人島根糖尿病療養支援機構」「糖尿病を考える会」「島根県糖尿病療養指導士の会」の三会で、3回目の合同研修会を開催しました。

「島根県糖尿病合同研修会2018」は8月26日（日）くにびきメッセで、医師14名、歯科医師7名、その他の医療スタッフ245名、合計265名の参加で、島根県で糖尿病に関心のある医師・コメディカルが集う最大の会になりました。

医師の講演2題、歯科医師1題、栄養士、理学療法士、看護師の講演がそれぞれ1題ずつと盛りだくさんの内容でした。それぞれで最先端でご活躍の講師の方々のお話は説得力があり、とても意味の深いものでした。糖尿病支援に関わるための知識だけではなく、糖尿病の患者さんに寄り添う支援の大切さも学びました。

講演後に取らせていただいたアンケートに202名（回収率75.9％）に回答をいただきました。

満足度においても、どの講演も80％を超えるものでした。理解度においてもほぼ80％の人達が理解できたと答えていました。反面、スケジュールが過密すぎて、もう少し休憩時間が欲しかったと書いていただきました。今後の課題として考えていきます。

また、今後の研修企画についても、高齢者糖尿病の支援、訪問、在宅での支援についても、要望がありました。実践的な食事療法、運動療法についても開催希望をいただきました。

私達合同委員会としても頂いた大切な意見を尊重して、次回実りある企画をしていきたいと思っています。

「島根県糖尿病合同研修2019」にもどうぞご参加頂ますようお待ち致しております。

会　期	平成30年8月26日(日)
会　場	くにびきメッセ　国際会議場
主　催	NPO法人島根糖尿病療養支援機構 糖尿病を考える会 島根県糖尿病療養指導士の会
講演Ⅰ	座長:田中美紗子(NPO法人島根糖尿病療養支援機構　副理事長) 演題:「糖尿病の食事療法～ set on aging, update & outcome ～」 講師:女子栄養大学大学院　栄養学研究科 本田佳子先生
講演Ⅱ	座長:垣羽寿昭(松江赤十字病院) 演題:「しっかり備えたい　糖尿病の骨粗鬆症」 講師:島根大学医学部内科学講座内科学第一 島根大学学術研究院医学･看護学系講師 山本昌弘先生
ランチョンセミナー	商品紹介　　第一三共株式会社･田辺三菱製薬株式会社
	座長:並河　整(並河内科クリニック) 演題:「糖尿病とがんの危険な関係～2つの病いを支える対話のかたち～」 講師:国立がん研究センター中央病院 総合内科･歯科･がん救急科 科長 大橋　健先生
講演Ⅲ	座長:安食克志(出雲市立総合医療センター) 演題:「フレイル予防を視野に入れた糖尿病運動療法」 講師:藍野大学医療保健学部理学療法学科 本田寛人先生
講演Ⅳ	座長:石川万里子(島根大学医学部) 演題:「高齢糖尿病患者のケアで大切なこと」 講師:創価大学看護部 准教授 添田百合子先生
講演Ⅴ	座長:川谷恭典(かわたに薬局) 演題:「知ってもらいたい歯科の病態と治療～医療連携強化のために～」 講師:おむら歯科医院　院長 小村尚徳先生

NPO会員28名がスタッフ参加

一緒に体験

島根糖尿病合同研修会
2019 予告！！

会期：2019年9月1日(日)
会場：くにびきメッセ
国際会議場
お待ちしています！

次回の講師陣の予定です。
(1)倉敷中央病院　松岡孝先生
(2)横浜創英大学　中村慶子先生
(3)東邦大学　弘世貴久先生
(4)松江赤十字病院　垣羽寿昭先生
(5)山根病院　山根雄幸･歯科医師会医師

次回もご期待ください！！
是非手帳にメモっておいてください(._.)φ

◇糖尿病ブルーライトアップ　ブルーライト・オーケストラを主催して◇

NPO法人 島根糖尿病療養支援機構　理事　手納信一

日時:平成30年11月18日(日)
場所:雲南市加茂文化ホール ラメール

島根県でも、糖尿病協会がバックアップして毎年、県内各地でブルーライトアップ並びに記念事業を行っています。今年は雲南市で開催され、大村詠一氏による記念講演を中心に数々のイベントが行われました。その一環として多くの一般市民とともに演奏会を行いましたのでその経緯を報告します。

経緯:今回の担当事務局である雲南市立病院の本田正宏薬剤師は島根LCDEとして院内活動だけでなく地域に出て熱心に活躍しています。私も日ごろから本田さんと一緒に様々な活動をしていました。また、私はDNAフィルハーモニックという島根大学医学部OBオーケストラの活動にも携わっていることから、2人で雲南市でのブルーライトアップイベントの一環としてオーケストラの演奏会をしてみようと構想を練り始めました。本田さんが雲南地区ブルーライトアップ実行委員会でこの演奏会の企画を説明説得し、また私がDNAフィルハーモニックのメンバーに定期演奏会以外で初めてとなる演奏活動を提案説得しました。お互いの団体にとって初めての計画ですから説得には相当の努力を必要としました。

既存のオーケストラを活用して:本来は新たにオーケストラのメンバーを公募してブルーライト・オーケストラを結成すると良いのですが、人口の少ない地域では演奏者が簡単には集まりませんし、また寄せ集めでは演奏そのものも成り立ちません。そこで、今回は既存のオーケストラを基軸にすることにしました。最終的には出雲高校弦楽部や趣旨に賛同した多くの市民音楽愛好家が演奏に参加し63名のオーケストラとなりました。また、出雲高校コーラス部から20名、雲南市大東高校吹奏楽部から7名、同市三刀屋高校吹奏楽部から20名、同市合唱連盟から48名と総勢169名による演奏となりました。

練習:2018年11月の本番に向けて6月に第1回練習、8月から10月までは月1回、11月は2回の練習を行いました。皆がそれぞれ忙しくしており、実際に全ての人が集まったのは前日になりました。

プログラム:第1部ではオーケストラの名曲を聴くことを目的に、ライネッケのフルート協奏曲とベートーベン作曲の交響曲第5番「運命」を取りあげました。また第2部では堅苦しくない「お楽しみプログラム」を組みました。初めは松江工業高等専門学校の学生にホールステージ上部にプロジェクションマッピングを映し出しました。会場全体でカウントダウンして演奏と投影を同時に開始しました。通常のプロジェクションマッピングでは録音された音源を使用しますが、今回は生演奏です。映像はプログラム通りに進行しますので1秒と変わらず進行します。一方、生演奏はその時の勝負です。テンポもその都度変化しますので、最終的に同じゴールにたどり着いたのはまさに奇跡でした。その後地元の高校生吹奏楽部とも共演しました。いつもは弦楽器と一緒に演奏することのない吹奏楽部ですが、今回の新しいサウンドに演奏者だけでなく観客も喜んでいました。最後は大地讃頌です。地元の合唱連盟も協力してホール全体が歌声で包まれました。多くの市民が心を一つにして一つの曲を作り上げた感動的な瞬間でした。

中央だけでなく、両サイドと上部の窓にも映像が映し出されていました

ブルーライトアップで演奏会を行う意義:まずは年齢や性別を問わず多くの市民が参加する機会になったという事が最も大きな成果でした。例年のイベントでは参加者は医療関係者、患者、その家族が多いと思います。今回は中学生から80歳代まで幅広く参加してくれました。さらに演奏に参加した方々の家族が多く来場したために、さらに幅広い啓発事業になりました。特に糖尿病と普段接することのない生徒・学生が糖尿病啓発活動に参加してくれたことが大きいと考えます。

音楽には3つの効用があるといわれています。1つは「人を癒す力」です。「癒す力」は皆さんも簡単に理解できると思います。残り2つは「人を結びつける力」「人を鼓舞する力」です。サッカースタジアムで聴く歌を想起していただくと理解しやすいと思います。演奏を通して、普段糖尿病に接する機会のない人たちも含めて多くの人が、音に癒され、糖尿病に対して団結することができたと考えています。会場全体が音で包まれた後に、さらにその会場建物がブルーの光で包まれてこのイベントが終了いたしました。

最後に:今回のプロジェクトはとても大変でしたが、実行委員長の服部修三先生をはじめ、関係各位の多大なる努力の結晶で大きな成果となりました。感謝と共に報告いたします。

◇島根県糖尿病腎症重症化予防実践者育成講座の開催◇

NPO法人　島根糖尿病療養支援機構
理事長　並河整

日時 場所	東部会場	平成30年12月23日(日)	出雲保健所大会議室
	西部会場	平成31年1月20日(日)	浜田合同庁舎大会議室
対象者	糖尿病腎症にかかる保健・栄養指導等実践者 市町村国保における従事者(医師、保健師、管理栄養士、看護師等)※委託機関含 各種職能団体(栄養士会、看護協会等) その他、関係機関		
日程 内容	10:00	開会挨拶　島根県健康推進課	
	10:05～11:05 講演①	「糖尿病腎症の病態と治療について」 NPO法人島根糖尿病療養支援機構副理事長 医師　山根雄幸(山根病院院長)	
	11:10～12:10 講演②	「保健指導のあり方～特に食事指導について」 NPO法人島根糖尿病療養支援機構副理事長　管理栄養士　田中美紗子	
	15:30～16:00 症例検討	基本的アセスメントの視点及び意見交換等 NPO法人島根糖尿病療養支援機構　並河整理事長 田中美紗子、山根雄幸、伊藤孝子(管理栄養士)	

島根県では平成30年3月に「糖尿病腎症重症化予防プログラム」を策定し、未受診者・受診中断者への受診勧奨やハイリスク者への保健指導を実施されています。保健指導に従事する人たちの糖尿病腎症の病態や治療についての知識を高め、糖尿病管理の支援を適切に行えることを目的として本講座が開催されました。私たち島根糖尿病療養支援機構に講座運営の委託があり、

①腎症を含む糖尿病対策の基本を理解する
②症例検討により個別支援にかかるアセスメント能力を高める
③対象者に説明可能な知識を習得し、保健事業や個別支援に活かす

という目標に向けて、専門医と管理栄養士の講義と症例検討を行うプログラムを作成しました。

研修会は県内2会場で開催され、出雲市で78名、浜田市では83名と多くの参加者がありこの問題に対する関心の高さがうかがわれました。熱心に聴講して頂きディスカッションでも多数の意見を頂き、時間がとても早く過ぎて充実した研修会となりました。糖尿病腎症には栄養や運動、薬物療法だけでなく患者背景やQOLなど多くの配慮すべき事項があり1回の研修では到底網羅できません。また、参加者の職種や経験が異なる上に、それぞれの所属施設での日常業務の役割も種々であり、一人一人の参加の動機に対応ができたかどうか疑問があります。今後もこのような活動を重ね、参加者、主催者双方が腎症対策についての理解を深めることが重要と感じました。

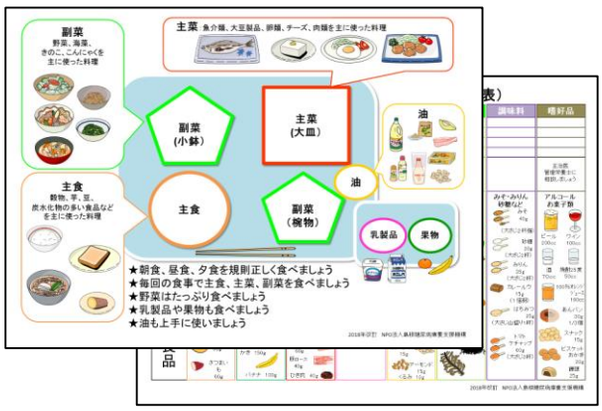
島根県における腎症重症化対策が実りあるものになる様、努力して参りましょう。

東部会場:78名

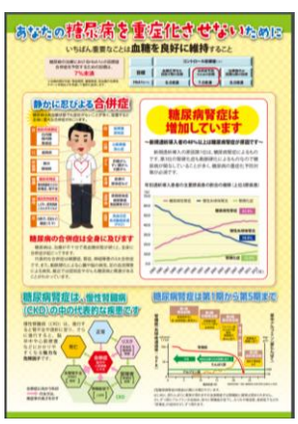
西部会場:ipad受講含83名

◇食事指導用媒体紹介◇

NPO法人　島根県糖尿病療養支援機構



食事の基本のお膳の図と「食品交換表の簡易版ポスターです。
個別指導の他、集団指導や、各種イベントに利用していただいています。
事務局までお問い合わせ下さい。



島根県からの委託を受け、H28年度に当機構で作成委員会を作り検討作成しました。
このチラシ版は、島根県のHPに掲載されていて、どなたでもダウンロードすることができます。

島根県HPトップ＞医療・福祉＞健康・医療
＞健康＞健康増進対策＞糖尿病対策

https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/kenko/chouju_info/index.data/jyusyoukayobou.pdf

スライド版は、県下全域の自治体・診療所にCDで配布されています。
スライド版のそれぞれのページに、説明用コメント付きを作りました。
会員専用ページから、パスワードの入力後ダウンロードできます。

会員専用ページをご活用下さい！

◇事務局からのお知らせ◇

◆年会費納入のお願い◆　平成29年度分（29年10月1日～30年9月30日）･･･未 納 の 方
平成30年度分（30年10月1日～2019年9月30日）･･･未 納 の 方
※納入状況が不明の方は事務局へお問い合わせ下さい。（office@sdmrso.jp:伊藤）

会員種類	内容	入会金	年会費
正会員	この法人の目的に賛同して入会し活動を推進する個人 （医療職に限らず一般の方すべて入会可能です）	2,000円	3,000円
準会員	現在、島根県糖尿病療養指導士 取得のための研修会を受講中の者	無料	無料
賛助会員	この法人の事業を賛助するために入会した団体	無料	5,000円

◆ご寄付のお願い◆

会費とは別にご寄付を受け付けています。
会の運営・発展のため、皆様からのご寄付をお待ちしています。

【振込先】
郵便振替口座:01360-5-85177　特定非営利活動法人　島根糖尿病療養支援機構
山陰合同銀行:益田支店　3627347　特定非営利活動法人　島根糖尿病療養支援機構
ゆうちょ銀行:15380-14463881　特定非営利活動法人　島根糖尿病療養支援機構

◆島根県糖尿療養指導士１１期生が受講中です◆

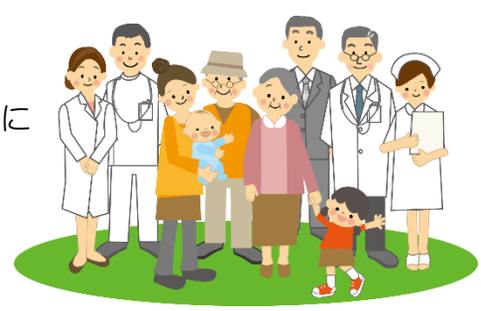
11期生49名が受講中です。

◆登録内容の変更は速やかにご連絡ください◆

勤務先･ご自宅住所の変更の場合、発送先変更など、速やかに事務局へ連絡してください。
⇒ e-mail:office@sdmrso.jp（伊藤）
FAX専用:0852-61-0852（通話不可）

◆新入会のお誘い◆

会員の皆様のまわりで、当機構の趣旨に賛同いただける方に
入会のお誘いのお声かけをお願いします！！
入会方法等、HPの「入会の申込み」をご覧ください。
https://www.sdmrso.jp/nyukai_mosikomi/



◆会員専用ページのパスワード◆

2019年3月15日より変更となります。
新パスワードは正会員へお知らせしています。（機関紙と同封）
パスワードがわからない方は、office@sdmrso.jp（伊藤）にお問合せください。

編集後記

今季は、暖冬でしたが春の訪れが待ち遠しいこの頃です。
本年度は、糖尿病腎症重症化予防実践者育成に力を注ぎ、多数の参加者があり、島根県糖尿病療養指導士11期生の研修もスタートし、多くの仲間が学んでいます。また、雲南市でのブルーライトアップイベントも素晴らしい取り組みをされ、活力のある島根を実感しました。糖尿病はチーム医療であり、様々な機会を通じて、人との繋がりを大切にしながら糖尿病医療に携わっていきたいと考えます。
次年度も実りある1年となりますよう、今後とも一層のご支援をお願いいたします。

NPO法人 島根糖尿病療養支援機構　副理事長　山根雄幸